

食の安全・安心、持続可能を実現

～消費者と生産者の信頼構築をめざして～

消費者の方々へ農業・食品産業（生産者）の頑張り・取り組みを紹介し、両者の信頼関係を深めることを目指します。



プログラム

◆ 基調講演

安全な食品の供給を目指して～畜産食品に潜む食中毒のリスク回避～
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授 山崎 伸二

◆ 話題提供

- 大阪府における食の安全・安心の取組み～農産物の生産履歴の記帳推進～
大阪府環境農林水産部農政室推進課 参事 藤岡 理
- 安全・安心を支える農産物生産技術の紹介～病害虫防除を例に～
(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 経営企画室副室長 岡田 清嗣
- いずみ市民生協の食品リサイクル・ループについて
大阪いずみ市民生活協同組合 専務理事 久保 幸雄
- 梅酒造りは土作りから消費まで
チョーヤ梅酒株式会社 専務取締役 金銅 俊二
- 我らが誇るブランド豚『のうまいポーク』
～小麦の栽培による「地域循環型農業」の強化～
大阪府立農芸高等学校 大同 未祐 他8名
- 発酵エコフィードの可能性
～食品廃棄物を利用した資源循環型畜産への挑戦～
大阪府立農芸高等学校 笠田 魁人 他2名
- ウシ体内の食中毒原因菌の排除への挑戦
(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 主任研究員 瀬山 智博

基調講演 講師プロフィール

山崎 伸二 氏

大阪府立大学大学院
生命環境科学研究科
獣医学専攻 教授



神戸学院大学薬学部卒業。
医学博士（京都大学）。

アレキサンダー・フンボルト財団奨学研究生としてドイツ国立動物ウイルス病研究センターでボツリヌス毒素の作用機作に関する研究に従事したほか、国立国際医療センター研究所室長や日本細菌学会 理事等を歴任し、2001年より大阪府立大学大学院教授として着任。水や食品を介して人や動物に感染する病原細菌の遺伝子を解析し、簡便・迅速な診断法や分子疫学的解析法の開発を行っている。また、細菌が産生する病原因子や特異抗原を解析し、病態発症機序の解明や免疫学的手法に基づく診断法、治療法や予防法の開発研究を行っている。

日時 平成29年**9月18日**（月祝）13時30分～16時00分

会場 大阪府立大学 学術交流会館 **参加無料 定員200名**

主催 関西畜産学会大阪大会実行委員会 **後援** 大阪府、大阪府教育委員会

協賛 大阪府農業協同組合中央会、一般社団法人大阪府畜産会

■WEB申込フォームURL <https://www.kannousuiken-osaka.or.jp/ssl/170918/63/>

■詳細は <http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/>

環境農林水産総合研究所

検索